

7 汕頭における邦人巡査拘引事件

375 昭和12年5月22日 在汕頭山崎領事より
佐藤外務大臣宛(電報)

汕頭において中国側警察当局による邦人巡査
拘引事件発生について

汕頭 5月22日後発
本省 5月22日夜着

第二一號(大至急)

本官發廣東宛電報

第一三號

當館青山巡査本二十二日日本旅館ヨリ日商神州洋行ノ二階
へ引越ニ付二十一日小幡ハ市政府黃參事ヘ其ノ旨ヲ通知シ
タルニ對シ參事ハ警察ニ通知スヘキモ成ルヘク規定ノ届出
ヲ爲シ許可ヲ得ルコト宜シカルヘシト答ヘタル趣ナリ日本
人カ日本人住宅ニ移轉スルニ一々許可ヲ得ルコトハ居住權
ノ制限ヲ意味シ面白カラス依テ青山ニハ領事館員ニシテ日
商神州洋行ニ移轉スルノ證明書ヲ持參セシメ移轉ヲ完了セ
リ

376 昭和12年5月22日 在汕頭山崎領事より
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡査の拘引は同巡査の中国側警察官への
暴行が原因であるとの汕頭市政府側説明は事
実無根の旨報告

汕頭 5月22日後発
本省 5月22日夜着

第二二號(大至急)

本官發廣東宛電報

第一四號

往電第一三號ニ關シ

巡警等ノ脱線行動ハ警察局長及督察長等ノ上級幹部ヨリ移
轉許可ヲ得サル警察法規違反ナリトノ命令ニ基キ行動シタ
ルモノト觀測サレ之ニ幹部ノ抗日意識カ加ハリ領事館員ト
雖不法者ハ斯ノ如シト威力ヲ示スヘク計畫的ノ惡辣手段ニ
出テタルモノト推測ス其ノ後市政府側ノ電話ニ依レハ青山
カ二名ノ巡警ヲ毆打負傷セシメタルコトカ本件ノ原因ナリ
ト言フニ付朝來青山ノ移轉ヲ援助セル黃巡査ヲ取調ヘタル
處全然其ノ事實ナシ若シ巡警中多少負傷セル者アリトセハ

其ノ直後戶籍係ノ巡長來リタルニ付領事館ノ證明書ヲ示シ
且要求ニ應シ青山ハ家族ノ年齡等ヲ紙片ニ記入シ之ヲ交付
シ一段落セリ

其ノ後右巡長再來シ青山ニ向テ本人分局ニ出頭届出スヘキ
旨ヲ要求シタルモ後刻領事館ヨリ通知スヘキ旨ヲ答ヘ之ニ
應セサリシカ其ノ後間モナク八名ノ巡警ハ同洋行前ニテ長
銃ヲ裝填シ或ハ拳銃ヲ持シ本人出頭セスハ拘引スヘシトテ
洋行ニ闖入シ二階ニ上リタレハ青山巡査ハ無斷侵入ノ不法
ヲ告ケ追出サントシ遂ニ巡警等ハ青山、黃ノ兩巡査等ヲ毆
打シ捕縄ヲ附シ青山ヲ分局ニ押送セリ

右ニ關シ小幡ヲ市政府ニ派シ黃參事ニ嚴談セシムル他面署
長以下六名ヲ第二分局ニ派シ青山ノ身柄交付ヲ要求シタル
處丁度第三分局長ノ葬式ニテ警察局長及前記二分局長不在
ニテ總テ要領ヲ得ス目下高市長廣東出張不在ニ付省政府ニ
對シ即時青山解放並ニ右不法責任者及關係者等ヲ嚴罰方御
交渉アリタシ

大臣、支、上海、北平、福州、廈門ニ轉電セリ

青山ヲ拘引セントシ階段ノ半三尺四方位ノ所ニテ青山ハ押
出サントシ巡警等侵入セントスルモ狹キ階段ニテ多數込合
ヒ其ノ入口ノ戸ヲ破リタル事實モアリ黃モ各所ニ負傷セル
次第ナレハ或ハ此ノ際ノ負傷カト想像スルモ青山カ毆リタ
ル形跡ナシ青山ハ捕ヘラルル際巡警等カ前後ヨリ毆打シ負
傷セル筈ナリ

轉電先前電ノ通り

377 昭和12年5月25日 在中国日高臨時代理大使より
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件に關し事件の迅速解決方お
よび同様事件の再発防止方につき適切な処
置を王寵惠へ要求について

南京 5月25日後発
本省 5月25日夜着

第三四八號

貴電合第三一三號ニ關シ

本二十五日王外交部長ニ對シ事件ノ經過ヲ認メタル「メモ」
ヲ手交シテ其ノ内容ヲ説明シタル後御訓電ノ趣旨ヲ體シ本

事件ノ重大性ヲ強調シタル上地方當局ヲシテ迅速解決ヲ計ラシムル外此ノ種事件ノ再發ヲ防止スル爲各地方當局ニ周達スル等適切ナル措置ヲ講スヘキ旨要求セル處王ハ斯ル事件ノ發生セルコト事實ナリトセハ誠ニ遺憾ノ次第ナルカ未タ詳細ナル報告ナキニ付至急其ノ真相ヲ確メタル上適當ニ處置スヘク其ノ結果何レ通報スヘシト答ヘタリ

廣東、汕頭、福州、厦門、上海、北平へ轉電セリ

378 昭和12年5月25日 在汕頭山崎領事より 佐藤外務大臣宛(電報)

移転手続きを勧告した警察官を邦人巡査が殴打したと主張する汕頭市長よりの抗議公文について

汕頭 5月25日後発
本省 5月25日夜着

第三五號

本廿五日午後市長ヨリ公文ヲ以テ大要左ノ通り申越セリ
一 第二分局ニ於テハ當日青山カ戸。口ヲ報告セス移轉ヲ強行シ居ル旨ノ報告ヲ受ケ分局員尙。文。治ヲ派遣シ青山ニ對シ

六日發スル筈(委細公信)

支、上海、北平、廣東、厦門、福州へ轉電シ、香港、臺灣外事課長へ暗送セリ

379 昭和12年5月26日 在汕頭山崎領事より 佐藤外務大臣宛(電報)

汕頭市政府に對し邦人巡査拘引事件の経緯を説明して市長抗議公文の誤謬を警告し事件の円満解決に向けた交渉を要求について

汕頭 5月26日後発
本省 5月26日夜着

第三七號

本官發廣東宛電報

第二三號

青山事件ニ關シ本二十六日午前市政府ニ祕書長ヲ訪問シ逐一事件ノ經過ヲ説明スルト共ニ條約違反及累加スル暴行行爲ノ重大性ヲ難詰シ昨二十五日ノ市政府公信カ何等價值ナク斯ル事件ヲ顛倒セルハ誤解ノ甚タシキモノナリト警告シ市長ノ歸任ヲ待ツ迄モナク明日午後更ニ交渉スヘク本件圓

正當手續ヲ爲スヘキ旨再三勸導シタルモ青山ハ之ヲ聽入レス前記尙ヲ殴打負傷セシメ他ノ巡警一名ヲ傷ケタルニ依リ拘引ヲ命シタリ青山ハ戸口ヲ報告セス移轉ヲ強行シ且局員巡警ヲ殴打セル旨承認セリ

ニ警察本局ニ於テモ前記一ノ事實ヲ認メ且今回ノ移轉ニ戸口ヲ報告セサリシハ領事館ノ命令ニ依ル旨述ヘタルカ斯ノ如キハ甚タ非友誼的行動ニシテ從來日臺人ハ累次局員、巡警等ヲ殴打シ未タニ處罰ヲ受ケ居ラサル處今次ノ暴行カ領事館職員ニ出テ且領事館ノ命令ニ依レルコトハ甚タ遺憾ナリ

三、依テ青山ノ斯ル行動ハ警察法規ニ違反シ且勸導ノ局員、巡警ヲ殴打負傷セシメタルハ殊ニ無理ナルニ付

(一) 青山ヲシテ移轉登記手續ヲ爲サシムルコト

(二) 累次ノ支那局員巡警ヲ殴打負傷セシメタル日本居留民ヲ嚴罰スルコト

(三) 負傷セル局員巡警ノ醫藥費ヲ賠償スルコト

(四) 將來ノ保障

ノ四件ヲ實行セラレ度シ云々

尙本官ハ單ニ經過事實ヲ述ヘ追テ交渉スル旨ノ公文ヲ明廿

滿解決ニ關スル條件ハ追テ提示スヘキ旨ヲ告ケタルニ對シ祕書長ハ當方提示ノ經過ニ對シ至急調査スヘキ旨ヲ答ヘタリ

大臣、支、上海、北平、福州、厦門へ轉電セリ

380 昭和12年5月26日 在広東中村総領事より 佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件の発生を抗議しわが方要求事項に関する口上書を吳鉄城広東省主席へ手交について

別電 昭和十二年五月二十六日発在広東中村総領事より 佐藤外務大臣宛第一七八号
右口上書

広東 5月26日後発

本省 5月26日夜着

第一七七號

往電第一七五號ニ關シ

廿六日午前先ツ省政府祕書長ニ面談シ事件ノ性質ヲ説明シ速ニ解決方ヲ促シ次テ吳鐵城ニ面會シ御訓令ノ次第ヲ別電

シ、香港へ暗送セリ
福州ヨリ臺灣外事課長へ轉報アリタシ

(別電)

広東 5月26日夜発
本省 5月26日夜着

第一七八號

口上書

由來汕頭市ニ於テ貴國警察官憲カ本國人ニ對シ極メテ無理
解ナル態度ヲ執リ居レルハ顯著ノ事實ニシテ本總領事ハ夙
ニ事端ノ發生ヲ惧レ曩ニ貴主席ニ面談ノ際縷々之ヲ説述シ
又五月一日附節略ヲ以テ貴主席ノ注意ヲ喚起シ置キタル處
其ノ後何等事態ノ改善ヲ見ス遂ニ本月二十四日附節略ヲ以
テ不取敢申進メ置キタル如キ事故ヲ發生シタルカ本件ハ貴
國警察官員ノ帝國總領事館員ニ對シ加ヘタル暴行侮辱事件
ニシテ本總領事ノ極メテ遺憾トスル所ナリ
帝國政府ニ於テハ本件事態ヲ極メテ重大視シ貴主席ノ完全
ナル統制ノ下ニ在リテ汕頭市ノ治安維持ノ任ニ當リ居ル汕
頭市警察當局側カ官吏ノ家宅ヲ武裝シテ侵犯シ且我方官吏

第一七八號ノ口上書ニ認メ手交シ本件解決カ遷延スルニ於
テハ日本ノ輿論ヲ刺戟スル所甚大ナルヘキニ付我方要求ヲ
速ニ容レラレ政治的ニ解決ヲ遂ケラレンコトヲ求メタルニ
對シ吳ハ曩ニ受取リタル覺書ノ事實ハ汕頭ヨリノ報告ト相
違甚タシク先ツ事實ヲ判明セシムル必要アリ又自分ハ就任
以來五週間ニ過キス内政狀態ニ通セサル(脱)ハアルモ一日
モ速ニ友誼的解決ヲ爲シ度キ旨ヲ述ヘタルニ付本官ヨリ現
地ヨリノ報告ノ末節ノ差異ニ捉ハレ時日ヲ空費スルノ不得
策ナルヲ力説シタル處斷シテ遷延ノ意思ナシト答ヘタルヲ
以テ本日午後四時再度祕書長ニ會見スルコトニ定メタリ
吳ハ着任以來廣東省一般ノ日本ニ對スル猜疑心ノ強烈ナル
ニ驚キ居リ説明ニモ困ル程ニテ斯テハ警察當局モ遣リ過ク
ルコトアランモ本件ハ必ス雙方満足ナル解決ヲ圖ルヘシト
語リタリ

尙外部ニ對シテハ現地兩國官憲ノ報告ニハ合致セサル點多
キヲ以テ事實ノ真相ヲ明カニシ誠意ヲ以テ速ニ解決ヲ圖ル
コトトナリタリト發表スルコトトシ當方ヨリノ要求事項ハ
差當リ公表セサルコトニ打合セタルニ付右御含置ヲ請フ
本電別電ト共ニ支、上海、北平、福州、廈門、汕頭へ轉電

ニ暴行侮辱ヲ加ヘ拘引ノ上手錠ヲ施シテ留置スルカ如キハ
前例ナキ重大ナル越軌行動ナリト考ヘ本總領事ニ訓令シ今
後斯カル事態ノ發生ヲ防止シ兩國ノ親善關係ノ増進ニ資ス
ル見地ヨリ貴主席ニ對シ最小限度左記ノ事項ヲ速ニ實行セ
ラレンコトヲ要求セリ

尙要求事項ハ本國居留民ノ不安ヲ一掃シ且帝國內ニ於ケル
輿論ノ沸騰ヲ避クル爲一日モ早ク實行セラレンコトヲ希望
ス

記

一、汕頭市長ハ在汕頭帝國領事ヲ往訪シ本件發生ニ關シ遺憾
ノ意ヲ表スルコト

二、汕頭市警察局長、同督察長、同第二分局長並ニ本件關係
警察官ヲ罷免スルコト

三、在汕頭帝國領事館員青山清及黃祥琪ノ兩名ニ對スル相當
額ノ醫藥料並ニ慰藉料ヲ支拂フコト

但シ其ノ金額ハ追テ我方ヨリ通報スルモノナリ
四、汕頭市長又ハ其ノ代理者ヲシテ被害者ヲ訪問シ慰問ヲ爲
スコト

五、本件發生ノ原因カ廣東省ニ於テ行ハルル警察局租舖屋規

則ニアルニ鑑ミ該規則ハ日本人ニ關スル限り適用ナキコ
トヲ確認シ之ヲ關係官廳ニ周知セシムルノ措置ヲ執ルコ
ト

以上

昭和十二年五月二十六日

~~~~~

381 昭和12年 5月26日 在広東中村総領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件解決のため日中共同での現  
地調査実施を広東省政府提案について

広東 5月26日夜発  
本省 5月27日夜着

第一八一號

往電第一七七號ニ關シ

二十六日午後祕書長ト三時間ニ亘リ交渉シ本件ハ抗日意識  
ニ基キ發生シタル事件ナルヲ以テ末節ヲ離レテ即時解決シ  
日本ノ輿論ノ激昂ヲ抑止スルコト緊要ナルコトヲ極力説キ  
タルモ現地兩者ノ報告ハ餘リニ懸隔アルニ付公平ナル見地  
ヨリ事實ヲ調査シ解決促進ニ資スル爲ニ省政府ヨリ人ヲ派

遣スヘキニ付本官ヨリモ派員シ或程度迄事實ヲ闡明致度ク又他方事件解決ト同時ニ出向中ノ汕頭市長ニ歸任ヲ命シタルモ本官ト會談ノ結果重ネテ最モ友誼的態度ヲ以テ速ニ汕頭領事ト交渉スル様訓令スヘキニ付日本側ヨリモ同様ノ趣旨ヲ電報アリ度ク右ニ依リ一應現地ニ於テ解決ヲ試ミ度シト述ヘタリ

本官ハ汕頭居留民ハ官憲ノ抗日的態度ノ爲ニ不安ヲ感シ居ルニ付此ノ際現地ノ輿論ヲ鎮靜セシムル爲將來ノ保障ヲ與フルコトナレハ省政府ニ於テ本件發生ノ直接原因ニ鑑ミ最小限度

(一)如何ナル場合ニ於テモ巡警ノ日本住宅ニ侵入スルコトハ不法ナルコト

(二)省政府ハ日本人ノ居住ヲ制限スル意思ナキニ付遷入證ノ發行ハ許可制度ニアラス唯移轉ノ前後何レニテモ報告スルヲ以テ足ルヘキ旨ヲ明カニスルコト

緊要ナリト述ヘタルニ對シ自分個人トシテハ贊成ナルモ吳主席ト相談ノ上明日回答スヘシト答ヘタリ

汕頭警察當局カスル態度ニ出ツルハ抗日意識ノ發露ナリト認ムルカ此ノ點ニ付テハ至急適當ノ措置ヲ執ルコト必要ナ

広東 5月26日後発  
本省 5月27日後着

第一八二號

往電第一八一號ニ關シ

秘書長ハ事件ヲ成ルヘク小クスル見地ヨリ現地解決ヲ希望シ居リ本官ヨリ居留民ハ極度ニ不安ノ状態ニアルニ鑑ミ此ノ際當地ニテ一氣ニ解決セサレハ派生的事件ノ發生ヲ見事態擴大ノ危険アリト力説シタルモ秘書長ハ責任者ノ問題トナレハ何トシテモ事實ヲ相當ノ所迄確定スル必要アルニ付之カ便宜最モ多キ現地ニ於テ汕頭市長ト領事トノ間ニ友誼的ニ一先ツ交渉シ吳主席及本官ハ斷エス解決方ヲ促進シ不可能ナラハ更メテ廣東ニテ交渉スルコトト致度シト強ク希望シタルヲ以テ此ノ際一應汕頭領事ニ於テ往電第一七八號口上書ノ「ライン」ニテ市長トノ間ニ嚴重交渉ヲ試ミラレ不調ノ場合ハ當地ニテ再開スルコト然ルヘシト思考ス何分ノ儀御回訓ヲ請フ

冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

福州ヨリ台灣外事課長ヘ轉報アリタシ

リト説キタルニ廣東ニ於テハ日本ニ對スル疑惑多キニ驚キ居リ之ヲ一掃スル要アリ急速ニハ困難ナルモ充分自分等ヲ信賴アリ度ク當方ニ於テ惡キ點ハ責任ヲ以テ改善スヘシ唯廣東省民ハ支那全國中最モ刺戟サレ易キ民種ナルニ付其ノ方法ハ餘程慎重ナルヲ要スト本官ノ了解ヲ求メタリ依テ往電第一七六號漢字紙ノ無責任ナル報道ヲ指摘シ此ノ際嚴重ニ取締ラレ惡化ヲ防止セラレ度シト要求シタルニ對シ直ニ承諾シ唯香港ノ漢字紙ハ困難ナルモ地元ノ汕頭ヲ取締ル様盡力スヘシト答ヘタリ

尙本官ヨリ汕頭警察局長カ些細ナル遷入證ノ問題ヨリスル大事ヲ惹起シタルハ政治的責任ノ極メテ重大ナルコトヲ指摘シ善處方ヲ促シ置キタリ

冒頭往電ノ通り轉電、轉報セリ

福州ヨリ台灣外事課長ヘ轉報アリタシ

382 昭和12年5月26日 在広東中村総領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

広東省政府側の希望にも鑑み邦人巡查拘引事件は汕頭にて交渉すべき旨請訓

383 昭和12年5月27日 在中国日高臨時代理大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

税警団青島移駐問題および汕頭での邦人巡查拘引事件に関するわが方主張を非難・反駁する  
外交部發言人談話について

第三五九號(至急)  
南京 5月27日後発  
本省 5月27日夜着

外交部ニ於テハ昨廿六日夜「青島附近税警團交代及汕頭日本人支那警官毆打事件ノ真相ニ關スル外交部發言人ノ談話」ト題スル「プリント」ヲ各通信社及新聞社ニ配布シ右ハ今廿七日ノ各新聞ニ掲載セラレタルカ其ノ要領左ノ通り  
「山東膠澳鹽區ニハ從來税警一箇營駐防シ居リタルカ本月二日財政部ハ該部隊ヲ海州ニ移駐シ其ノ代リ税警第五團ヲ該區ニ駐防セシメタリ右ハ食鹽税ノ増課ニ依リ起ルヘキ鹽密輸防止ノ爲一、二箇營ヲ増派シ緝私力ヲ充實シタルモノナリ然ルニ在青島日本總領事ハ右事情ヲ辨ヘス青島市政府ニ對シ同市政府ヨリ之カ撤退方ヲ中央ニ要求スル様抗議ヲ提出シ同時ニ青島日本新聞ハ税警團ノ鮮人壓

迫ノ事實ヲ捏造シ且濟南、青島兩市政府ニ對スル挑發的文句ヲ並ヘ人民ヲシテ故意ニ事端ヲ醸スヲ疑ハシムルハ寔ニ遺憾トスル所ナリ

支那武裝軍隊ハ本國領土内ニ於テ自由ニ移動駐屯シ得ヘク是レ素ヨリ外國人ヨリ容喙ノ餘地ナキモノナリ況ンヤ稅警團移動ノ目的ハ緝私ニ在ルモノナレハ事新シク騷キ立ツル必要モナシ

汕頭日本人青山清ハ警察規則ニ依ル移轉届ヲ爲サス本月二十二日強テ二分局所轄永平路神州洋行ノ二階ニ移レリ當時警察員ヨリ之ヲ勸告阻止シタルモ聽入レス却テ職員、巡警各一名ヲ毆打負傷セシメタリ警察當局ハ其ノ日本人ヲ警察局ニ連行、次テ市政府ニ送リタルカ當日夕刻直接日本領事ニ身柄ヲ引渡スト同時ニ同領事ニ對シ本人ノ懲戒其ノ他ノ要求事項ヲ提出セリ

以上ハ黨部カ今日迄ニ得タル報告ナルカ更ニ真相究明ノ爲在廣東ヲ作謙特派員ヲシテ至急赴汕調査方命シ置キタリ左レハ該事件モ正確ナル事實ニ基キ適當ノ解決ヲ計ルコト困難ニアラスト思料ス

北平、在支各總領事ヘ轉電セリ

ニ事態ヲ惡化スル次第ナルニ付右緩和方御手配相成度シト申出テタリ

三依テ本官ヨリ汕頭事件ニ關スル支那側地方當局ノ報告ハ恐ラク自己ニ好都合ナル部分ノミヲ取上ケタルモノト思惟セラレ遽ニ信シ難ク本件ハ如何ナル點ヨリスルモ我領事館員ニ對スル重大ナル侮辱行爲ナルコトハ否定スル餘地ナシ之ニ對シ現地居留民ハ素ヨリ一般國民力不安ノ念ニ驅ラレ且憤激スルハ寧ロ當然ニシテ事件ヲ誇大ニ宣傳シ事態ヲ紛糾セシムルノ面白カラサルコトハ素ヨリ同感ナルカ昨二十六日外交部發言人ノ談話(往電第三五九號參照)ノ如キモノコソ最モ事態ヲ紛糾セシムルモノナラスヤ殊ニ稅警團暴行事件ニ付テハ未タ支那側ニ於テ調査モ終了セス其ノ結果ヲ我方ニモ回答越ササル以前ニ本件ハ事實ヲ捏造セルモノナリ等ト獨斷シ居ルハ寔ニ不愉快ニシテ先ツ以テ斯ル發言人ノ談話ヲ慎重必要アリト告ケタル處董ハ返答ニ窮シ右ノ次第ハ發言人ニ傳言スヘシト答ヘ引取リタリ

前電通リ轉電セリ

384

昭和12年5月27日

在中国日高臨時代理大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件における日中双方の主張には懸隔があるため現地へ特派員を派遣する旨  
外交部より通報について

南京 5月27日午後  
本省 5月27日夜着

第三六一號

往電第三四八號ニ關シ

本二十七日董科長ハ高宗武(病氣)ノ代理トシテ本官ヲ來訪シ

汕頭事件ニ關シ汕頭當局ヨリ得タル報告ニ依レハ青山巡查ヨリ先ツ我方警官ニ暴行ヲ働キタル趣ニテ其ノ内容貴方ヨリ申越ノ次第トハ大分異レリトテ汕頭發貴大臣宛電報第三五號ノ一ト略同様ノ内容ヲ述ヘタル上外交部ニ於テハ不取敢兩廣特派員ヲ作謙ヲ汕頭ニ派遣シ真相ヲ調査セシムルコトナリタルニ付其ノ結果改メテ回答致スヘキモ本事件發生後汕頭方面ニ多數ノ日本軍艦派遣セラレ又日本新聞ニ本件大袈裟ニ書立テラレ居ルカ如キハ徒

385

昭和12年5月28日

在広東中村總領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件に關する汕頭市長抗議公文の公表は円満解決を阻害するものとして外交  
部特派員へ嚴重抗議について

広東 5月28日午後  
本省 5月28日夜着

第一九五號

閣下發支宛電報第八一號ニ關シ

二十八日午前本官ヲ特派員ヲ往訪シ當方要求ハ頗ル穩當ナルモ往電第一八四號ノ通り事件解決ヲ圓滿ナラシムル爲暫ク公表セサルコトトナシ居ルニ拘ラス汕頭市長カ汕頭發閣下宛電報第三五號ノ如ク抗議ヲ提出シ且之ヲ公表スルハ事件ノ擴大ヲ防止スル所以ニアラス又斯ル抗議文ハ當地ノ省政府首腦部ト本官トノ圓滿ナル話合ノ進行ヲ阻害スルモノナリ閣下ニ於テモ貴國ノ勝手ナル宣傳ヲ遺憾トセラレ王外交部長ニ對シテモ代理大使ヲシテ注意ヲ喚起セシメタル程ナルニ付當地ニ於テモ事件發生ノ地元ノ責任トシテ慎重處理方考慮アリ度シト嚴重申入ヲ爲シタル處特派員ハ斯ル公

表ハ甚タ好マシカラサルコトヲ認メ早速新聞記者ニ對シ  
一、汕頭市長ノ抗議ハ何等廣東政府ノ訓令ヲ受ケタルモノニ  
アラサル汕頭限リノ行爲ナルコト

二、汕頭市長ニ對シテハ最友好的の精神ヲ以テ日本領事ト折衝  
スル様訓令濟ナルコト

三、廣東ニ於ケル日本總領事トノ交渉ハ日本當局ノ態度ヨリ  
見テ圓滿妥結ノ見込ナリ

トノ三點ヲ會見談ノ形式ニテ公表スルコトニ取計フコトト  
爲スヘキニ付差當リ之ニテ満足セラレ本案ノ解決ヲ急クコ  
トト致度シト答ヘタリ

支、在支各總領事、北平、汕頭ヘ轉電セリ

福州ヨリ臺灣外事課長ヘ轉報アリタシ

386 昭和12年5月28日 在中国日高臨時代理大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件の解決如何が日中国交に重  
大なる影響を及ぼす旨を王寵惠に説明し解決  
への善処方要望について

本件ヲ大袈裟ニ取扱ヒ却テ事件ヲ擴大スルカ如キコトナキ  
様希望ニ堪ヘスト答ヘタルカ本官ヨリ更ニ本件ノ重大性及  
汕頭地方官憲從來ノ態度ノ如キカ國交ニ害ヲ及ホス所以ヲ  
力説シ置キタリ  
尙前記汕頭發電ニ依リ事件ノ經過ハ「メモ」ニ作成王ニ手  
交シ置キタリ

福州、汕頭、廣東、厦門、上海、北平ヘ轉電セリ

387 昭和12年5月29日 在中国日高臨時代理大使より  
佐藤外務大臣宛(電報)

税警団問題および邦人巡查拘引事件に関する  
外交部發言人談話が両国国交上極めて不都合  
な旨同部係官ヘ注意喚起について

南京 5月29日後発  
本省 5月29日夜着

第三六四號

本二十九日外交部情報司周科長ハ司長代理トシテ本官ヲ來  
訪シ當地朝日特派員ハ王部長ハ日支國交調整ニ熱意ナク最  
近ノ日英會談ニハ反對ノ意思ヲ表示シ日蘇ノ關係ヲ支那側

第三六二號

貴電第八一號ニ關シ

本二十八日午前王部長ト會見閣下御訓令ノ次第ヲ充分敷衍  
説明スルト共ニ本事件ノ解決如何ハ日支國交ニ重大ナル影  
響ヲ及ホスヘキコト殊ニ從來支那側官憲ノ態度面白カラ  
トテ不安ノ空氣ニ包マレ居ル汕頭ニ於テ我方領事力穩健且  
友誼的態度ヲ以テ此ノ間ニ處シ懸命ニ努力シツツアリシニ  
拘ラス支那側官憲カ同館員ニ今回ノ如キ暴行侮辱ヲ加ヘタ  
ルハ遺憾千萬ナル旨ヲ説明シ汕頭發廣東宛電報第二四號ノ  
事實ヲ詳細ニ述ヘ本件解決ニ關スル支那側ノ善處方要望セ  
ル處王ハ國交調整ニ對スル努力ハ素ヨリ變ラサル所ニシテ  
本件ニ依リ影響ヲ來サランコトヲ希望スル點ハ同感ナル  
カ事件ノ經過及内容ニ付兩方ノ得居ル報告ニ相違シ居ル點  
少カラス從テ現在直ニ之カ對策ヲ講スルコト能ハサルモ廣  
東ヨリハ刁作謙ノ秘書凌士芬現地ニ向ヒ日本側ヨリモ副領  
事ヲ派遣セラレタル由ナルニ付其ノ調査ノ結果ヲ俟チ廣東  
又ハ當地ニ於テ速ニ公正ナル解決ヲ見ル様致度ク夫レ迄ハ

南京 5月28日後発  
本省 5月28日夜着

ニ利用セントスル等全面的ニ抗日ノ態度ヲ固メツツアル旨  
ノ特電ヲ發シ右ハ昨二十八日ノ朝日紙上ニ掲載セラレ居ル  
處現在汕頭事件等勃發シ日支關係相當緊張シ居ル際斯ル事  
實ヲ誣ヒタル報道ヲ朝日ノ如キ大新聞ニ掲載スルコトハ國  
民ノ感情ヲ刺戟シ面白カラサルノミナラス兩國國交打開ノ  
障礙トナル次第ニ付然ルヘク取締ラレ度シト申出テタリ  
依テ本官ハ當地ノ本邦記者ハ何レモ日支關係ノ改善ヲ希望  
シ居リ極メテ好意的ニ各種ノ報道ヲ爲サント努メツツアル  
モ其ノ出入シ得ル範圍ハ極メテ狹小ニシテ支那側ニ於テ好  
意ヲ以テ應對スルコトヲ避クル結果自然少キ材料ニテ結論  
ヲ下ス結果トナル次第ナルニ付情報司邊ニ於テモ更ニ積極  
的ニ之ヲ援助スル必要アリ左スレハ報道ハ必ス公平ナルモ  
ノトナルコト疑ナシ尙新聞記事ニ付論スレハ南京ノ漢字紙  
ノ如キハ其ノ記事論說隨分我方ニ取り面白カラサルモノモ  
アリ是等ノ取締ニ付テモ支那側ニ要求セサルヲ得サル次第  
ナルカ先ツ以テ過日ノ税警團及汕頭事件ニ關スル外交部發  
言人ノ談話ノ如キ本官自身モ極メテ不愉快ニ感シ居ルモノ  
ニシテ將來充分注意セラレ度シト告ケ置キタリ  
北平、在支各總領事、汕頭ヘ轉電セリ

昭和12年5月30日 在広東中村総領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

広東省の内政状況に鑑み邦人巡査拘引事件は  
過大な要求を行わず現地において迅速に解決  
すべき旨意見具申

広 東 5月30日後発  
本 省 5月30日夜着

## 第二〇四號

廣東省ノ内政ニ關シ要人及謀者トノ會談ニ依リ得タル綜合  
的情報汕頭事件解決ノ御參考迄左ノ通り

一、余漢謀及香翰屏、參謀長徐景唐(最近蔣介石ノ推薦ニテ  
建設廳長ニ就任)等ノ四路軍首腦部ハ目下ノ國內ノ大勢  
ヲ知リ中央擁護以外執ルヘキ策ナキヲ知リ居ルモ舊第四  
軍張發奎ノ部下ニ屬シタル繆培南、李漢魂(汕頭駐在)、  
鄧龍光等昨年余漢謀ニ加擔シ陳濟棠ヲ追出シタル部隊  
(所謂新派ヲ結成ス)ハ政變後中央化ノ結果却テ多大ノ軍  
縮ヲ強要セラルルコトニ不平ヲ有シ居ルモ敢テ首腦部ノ  
意思ニ反シ得ル程度ノ勢力ヲ有スルモノニアラス廣西又  
ハ四川方面トノ所謂反蔣勢力トノ聯合モ度々誘惑ヲ受ケ

内面的ニ漸次擡頭シツツアリ其ノ抱懷スル主義ヨリ見テ  
根本的ニ排日ナリ又藍衣社ノ勢力モ頗ル強化サレ其ノ目  
標ハ反蔣勢力ノ崩壞ニアルヲ以テ南支ニ於ケル地方軍閥  
カ日本ト聯合スルニ於テハ蔣介石ニ對スル一大脅威ナル  
ヘキヲ以テ極力抗日ノ鼓吹ニ努メ親善阻害ノ方針ヲ執リ  
ツツアリ是等ノ勢力互ニ輻輳シ廣東省ニ於ケル排日ハ他  
省ヨリモ猛烈ナル有様ナリ

三、吳鐵城、歐陽駒等新ニ任命セラレタル省政府首腦部ハ着  
任後日本ニ對スル過大ノ猜疑ヨリ生スル抗日意識ノ猛烈  
ナルニ驚キ居リ廣東ノ斯ル不合理ナル排日ヲ以テ頗ル遺  
憾トシ居ルモノノ如ク本官ニ對シ吳ハ自分ハ未タ廣東内  
政ヲ充分掌握シ居ラサルハ遺憾ナルモ充分對日關係ノ改  
善ヲ計ルヘシト述ヘタルコトアリ又同人側近者モ本官ニ  
對シモウ暫ク我慢アリ度シ必ス改善ノ見ルヘキモノアル  
ヘシト本官ヲ慰メタルコトアリ

斯ル形勢ノ下ニアリテ廣東ニ於ケル抗日ヲ善導スル爲ニハ  
今回發生シタル汕頭事件ノ如キモ徒ニ誇張過大ノ言ヲ以テ  
斷乎タル處置ヲ高唱スルモ今日ノ内政ヨリ見テ俄ニ效果ナ  
カルヘク又時日ヲ遷延セシムルニ於テハ其ノ間抗日派ノ策

居ルモ未タ密接ナル關係ヲ有スルニ至ラス

二、廣東ニ於ケル抗日意識モ全國統一國權回收熱ノ表現ナル  
モ特ニ熾烈ナルハ廣東人ノ性格ニ依ルコト勿論ナルカ中  
央化ノ後ハ從來ノ表面的排日ハ潛行的トナリ却テ惡性ト  
ナリタル觀アリ由來十九路軍ノ對日交戦ヲ讚美スル省民  
ノ手前第四路軍殊ニ前記新派カ我々モ廣東軍ノ精髓ナル  
ヲ以テ機會タニアラハ十九路軍ト同様ナル交戦ヲ爲シ得  
ヘシト省民ニ誇稱セントスル一方現ニ廣東省ニ配置セラ  
レ廣東軍ヲ監視ノ任ニアル中央軍ニ對シ彼等ノ軍隊カ軍  
規不良ニシテ實戰ニ際シ驅引ヲコトトシ常ニ第一戰ニ立  
ツヲ避ケタリトテ嘲リ種々ノ抗日的言動ヲ示シ士着軍ノ  
抗日精神ノ旺盛ナルコトヲ誇示セントスル傾向ニアリ

三、第四路軍内ニ於ケル抗日陣容ナルモノヲ諜知スルニ同軍  
總部青訓處長李煦寰ハ肅清漢奸委員會ナルモノヲ組織シ  
參謀處長陳勉。悟ト聯絡シ周密ナル探偵網ヲ張り支那人ヲ  
壓迫スルコトニ依リ間接的ニ廣東省ニ於ケル日本人ノ居  
住ヲ困難ナラシメントシ多數支那人ヲ拘禁シツツアリ尤  
モ黨部方面ハ目下比較的活動消極的ナリ

四、廣東ニ於テハ第三黨ノ勢力ハ部内ノ肅軍ノ不平ヲ利用シ

動ニ依リ抗日ヲ更ニ蔓延セシムル惧アリ曩ニ御訓令アリタ  
ルカ如キ公正ナル見地ヨリ現地ニ即シタル有効適切ナル保  
障ニ重點ヲ置キ速ニ事件自體ヲ解決シ我方ノ公正ナル立場  
ヲ知ラシムルコトハ將來吳等ノ對日方針ノ實行ヲ容易ナラ  
シムルコトトナリテ改善ニ資スルコトアルヘシト思考ス  
支、北平、在支各總領事、汕頭ハ轉電シ香港ヘ暗送セリ

389 昭和12年6月1日 在汕頭山崎領事より  
佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件に關する汕頭での共同調査  
の模様および汕頭市政府側の主張につき報告

汕 頭 6月1日前発  
本 省 6月1日前着

## 第五三號

往電第四五號ニ關シ

凌祕書カ上司ノ訓令ニ基クトノ希望ニ依リ共同調査ノ形式  
ニ依ラス昨三十一日午後二時本官ハ吉竹、小幡、署長以下  
關係警察官ヲ帶同シ凌、市長、警察局長等ト共ニ現場ヲ實  
檢シ本件ヲ知悉セル黃巡査ヲシテ實地ニ事件ノ詳細ヲ説明

セシメタル後市政府ニ赴キ警察局長ヲ退席セシメ双方ノ資料ニ依リ討議ヲ行ヒ其ノ間事件關係者ヲ隨時呼出シ對決セシメ更ニ吉竹及凌ハ博愛醫院ニ赴キ青山ヨリモ實情ヲ聽取シ本一日朝四時三十分迄繼續討論シタルモ支那側ハ結果ヲ悞レタルモノカ本件ノ重大「ポイント」ヲ悉ク否認シ拘禁約九時間ヲ承認セル外ハ左記ノ通り全面的ニ事實ヲ否定シ其ノ非ヲ認メシムルコト至難ナルモ本日午後再會ヲ約シ引取りタリ

#### 記<sup>⑧</sup>

一、神州洋行門外ニ於テ局員尙文治ノ胸部ヲ撲リ二階ニ馳込ミタル青山ヲ尙及巡警賴雲中ノ二名カ引致スヘク追跡シ二階ノ梯子段ヲ二、三步上リタル青山ヲ捕ヘタルモ更ニ左顧顧ヨリ耳ノ邊ヲ青山ヨリ毆打サレ双方揉合ヒ青山、黃、尙、賴ノ四名ハ階下ヘ轉落シ青山ハ抱カレタル儘外部ヘ突出サレ道路ニ待受ケ居タル巡警ノ爲拘引セラレタルモノニシテ尙及賴兩名ハ絕對ニ家宅内ニ侵入シタル事實ナシ

二、第二分局ニ押送ノ途中ハ絕對ニ青山ヲ毆打セス

三、井手署長外五名ノ署員カ青山ノ身柄引取ノ爲第二分局ニ

赴キタル際敵對行爲ヲ示シタルコトナシ  
四、警察局長ハ青山カ引越證明書ヲ提示シタルコトヲ否認シ其ノ後度々身分ヲ明カニシタルモ確證ナシテ領事館員タルコトヲ認メ居ラスト主張セリ  
五、第二分局及本局ニ於テ青山ニ手錠ヲ施シタルコトヲ輕ク否認シタルモ爲念今一應取調フヘキ旨述ヘタリ  
前電通り轉電セリ  
廣東ヨリ香港ヘ、福州ヨリ臺灣外事課長ヘ轉報アリタシ

390 昭和12年6月1日 在汕頭山崎領事より 佐藤外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件に關するわが方要求事項の承諾に汕頭市長が難色表明について

第五四號 汕頭 6月1日後発 本省 6月2日前着

往電第五三號ニ關シ

本官本一日午後吉竹ト共ニ市長及凌祕書ヲ訪問シ約四時間ニ亘リ事實ヲ承認セシムヘク極力努メタルモ結局何等一致

391 昭和12年6月4日 在汕頭山崎領事より 広田外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件に關しわが方要求事項をめぐる汕頭市政府側との応酬振り報告

第五八號 汕頭 6月4日後発 本省 6月4日夜着

昨<sup>①</sup>三日黃參事本官ヲ來訪シ凌祕書ハ本官ノ提出セル解決條件ニ失望シ市長ヲ援助シテモ成功見込薄ト見タル如ク調査モ一應済マシタレハ先ツ歸任報告スル趣ヲ述ヘ次テ凌祕書ノ話モアリタリト前提シ  
一、ハ遺憾ノ意ヲ表スル外ニ保障條項モ加ハリ廣東ノモノヨリ重シ

二、ハ特派員カ總領事ニ對シ事件ノ事實總テカ領事ノ報告通リトスルモ内政ノ關係モアリ條件ト切離シ自發的ノモノトシ度キ旨ヲ述ヘタルニ對シ總領事ハ敢テ反對セサル如キ態度ナリ殊ニ局長ハ他ニ轉任スルモ宜シカルヘキ口吻ナリキト

三、ハ支那側ニモ負傷アリ之カ輕重ヲ考慮ニ加ヘ適當ノ措

## 二 日中諸案件交渉

點ヲ見出スコト能ハサリシヲ以テ凌ニ對シ再調査ヲ求メタルモ其ノ要ナシト婉曲ニ拒絕シタリ依テ本官今回主張ノ眼目タル武裝巡警等多數ノ家宅侵入、手錠、長時間拘禁ハ事實確實ナル旨ヲ聲明シ貴電第一三號御訓令ニ依リ廣東發閣下宛電報第一七八號口上書中(一)「遺憾ノ意ヲ表スル」以下ニ「ト共ニ今後類似ノ不法事件ヲ繰返ササルコトヲ文書ヲ以テ聲明スルコト」ヲ挿入シ以下同一ノ要求條件ヲ覺書ニ認メ市長ニ手交シ速ニ之ヲ受諾シ圓滿解決ヲ計ラシムルコトヲ期待スル旨申入レタル處請訓ノ上二、三日中ニ何分ノ儀回答スヘシト答ヘタリ  
市長ハ此ノ提案ハ支那側ノミニ非アリトテ互讓(脱)ノ意ヲ仄シタルモ事件擴大ハ望マサルモノノ如キ態度ナルカ何分彼等カ家宅侵入ヲ誤魔化サントシタル義理並ニ青山カ門口ニテ先ツ毆打シタル(脱)等ハ誠意ヲ缺ク仕打ニテ要求承諾ニハ難色見エタリ  
尙市長ハ事件交渉ニ當リ軍艦ヲ多數派遣サルルコトハ民衆ヲ刺戟スル懼アリ考量ヲ求ムト述ヘタルニ付右ハ本件ト何等關係ナシト輕ク一蹴シ置キタリ  
轉電先前電ノ通り

置ヲ執ル意思ナキヤ

其ハ保護ト治安ノ關係モアリ別途ニ何トカ決定スヘキモノ  
ニテ例ヘハ廣東ニ於ケル如ク領事館カ正當人タルコトヲ  
證明スル等ノ方法ニ依ルヘク(廣東ニハ外國人ニ對スル  
モノト支那人ニ對スルモノトノ規定アル由)單ニ日本人  
限り之ヲ適用セスト簡單ニ片付クル譯ニハ行カス本件カ  
適當ニ解決セハ今後ノ保障モ出來ル譯ナリト述ヘタリ  
右ニ對シ本官ハ左ノ通り應答セリ

一、廣東案ヨリ重キ如ク見ユルモ保障ハ誠意アラハ反古同様  
ナリ但シ事件ヲ再發セントスル意圖アリトセハ重シ之ハ  
一ニ貴國側ノ誠意ニ伴フモノナリ

二、廣東總領事カスルコトヲ言フ筈ナシ右ハ凌祕書ノ言種ナ  
ルヘシト一蹴シ考慮ハスルト輕ク答ヘタリ

三、四、街路ノ喧嘩ナラハ兎モ角強制的家宅侵入ノ負傷者ヲ認  
ムル能ハストテ拒絕セリ

其ハ支那人ニ對スル規定ヲ外國人ニ強制シテ事件カ發生シ  
タルモノニ付本要求ハ當然ナルヘク從テ、ノ末段ニ於テ  
身體的ノ保障ヲ加ヘタル次第ナリ

尙本官ノ問ニ對シ黃ハ廣東ヘハ二日書面ニテ詳シク報告ス

南京 6月7日後發  
本省 6月7日夜着

## 第三九二號

本官七日他用ヲ以テ高宗武往訪ノ際高ハ汕頭事件ニ言及シ  
同事件ノ真相ニ付テハ日支双方調査ノ結果仲々合致セサル  
模様ナルモ自分ハ斯ル點ニ拘泥セス速ニ事件ヲ解決スルコ  
ト然ルヘシトノ意嚮ニテ近ク廣東省當局ヘモ右ノ旨傳達方  
考慮中ナルカ吳主席ハ事態ヲ能ク辨ヘ居ルニ付何等適當解  
決ニ達シ得ヘシト思考スル旨述ヘタルニ付本官ヨリ調査ノ  
結果ニ相違ノ點アルハ支那側ニ於テ故意ニ事態ヲ曲ケ報告  
シ居ル爲ニシテ殊ニ事件發生當時市長其ノ他ノ中立ノ立場  
ニ在リテ判斷シ得ヘキ上級官憲カ現地ニ居ラス事件ノ直接  
責任者タル警察官憲等ニ就キテノミ取調フルモ正確ナル報  
告ハ得ラレサルヘシトテ支那側ニテ發表シ居ル事實ノ誤レ  
ル點ヲ指摘シタル上支那警察官カ本邦人家宅ニ侵入セル點  
並ニ我領事館員カ青山ノ引渡ヲ求ムルモ容易ニ引渡サス長  
時間拘留セル點ニ付テハ當地外交團方面ニ於テモ重大ナル  
條約違反ナリトシテ支那側ノ態度ノ不當ナルコトヲ非難シ  
居ル旨ヲ告ケ斯ル事件ノ發生ハ之ヲ根本ニ邇レハ結局支那

ルト共ニ請訓シタルカ凌ハ四日歸任ノ筈ナレハ其ノ報告ヲ  
俟テ回訓アル筈ナリト

卑見ハ第一、第二ヲ其ノ儘突張レハ解決見込薄シ  
第二ハ現在ノ支那トシテハ吳鐵城、余漢謀等ノ關係ト人事  
上ノコトニテ之ヲ條件ニ加フルコトハ内政干涉ナル如ク勝  
手ナ解釋モアルラシク旁面目ニ關スルヤノ態度窺ハル  
第五ハ支那側ノ勝手ナル立場ヨリ言ハスレハ既ニ外國人ニ  
モ大體適用シタル形ナルニ今回ノ事件ニ依リ第五ヲ其ノ儘  
承諾スレハ獨リ日本人ニ特權ヲ與フルノミナラス他外國人  
ニモ影響シ從來既成事實トシテ得タル主權ヲ拋棄スルカ如  
ク考フルモノニアラスヤト推測シ得ル節ナキニシモアラス  
前電ノ通り轉電セリ

392 昭和12年6月7日 在中國日高臨時代理大使より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件は日中双方の主張懸隔に拘  
泥せず迅速解決すべしとの高宗武提議を強く  
反駁について

側軍憲カ抗日、排日ノ意識ニ燃エ動モスレハ本邦人ヲ敵視  
シ居ル結果ナルヲ以テ斯ル空氣ヲ一掃スルコト必要ナル旨  
強調シ置キタリ御參考迄  
上海、北平、廣東、汕頭、福州ヘ轉電セリ

393 昭和12年6月16日 在廣東中村總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件に關する吳鐵城の解決案は  
わが方の遺憾表明を含むなど全く問題になら  
ないと強く反論について

広東 6月16日後發  
本省 6月17日夜着

## 第三九五號

汕頭發閣下宛電報第七三號ニ關シ

汕頭ニ於ケル行詰リ打開ノ爲本官十六日吳主席ト長時間ニ  
亘リ懇談ヲ遂ケタリ先ツ本官ヨリ事實ノ顛末ニ付テノ討論  
ヲ後日ノ問題トシテ直ニ當方要求事項ノ受諾方ヲ汕頭市長  
ニ訓令アルコト大局上ヨリ望マシキ次第ヲ諄々説キタル處  
吳ハ用意ノ「メモ」ニ依リ當方ノ要求ニ對スル意見トシテ

一、汕頭市長ヨリ

(イ) 黃參事カ前日通知ヲ受ケ乍ラ警察局ニ轉達セス

(ロ) 警察局カ不必要ニ長時間青山ヲ拘留シタルコト

ノ二點ニ付遺憾ノ意ヲ表スルヲ以テ汕頭領事モ

(一) 青山カ警察局長ヲ毆打シタルコト及

(二) 永年ノ慣例ニ反シ手續ヲ終ラス事情ヲ知り乍ラ故意ニ

事端ヲ惹起スルカ如ク思ハルル移轉ヲ強行シタルコト

ノ二點ニ付遺憾ノ意ヲ表スルコト

ニ責任者ノ處罰ニ付テハ警察局長ニハ觸レス自發的形式ニ

依リ督察長以下ヲ一箇月以後二箇月以内ニ他ニ轉任セシ

ムルコト

ニ支那側被害者ニ名義丈ケノ見舞金ヲ支拂ハルルニ於テハ

青山ノ醫藥料ノミハ負擔スルコト

四、青山ノ慰問ハ困難ナリ

五、將來ノ保障トシテハ廣州市ニ於テ實行ノ方法(領事ノ發

給スル身分證明書ヲ有スル者ニハ警察ハ必ス遷入證ヲ發

給シ其ノ他ノ條件ヲ要求セス)ニ依ルコトト致度シト述

ヘ自分ハ事實ノ真相不明ナルニ拘ラス本官ノ意見ヲ容レ

テ解決案ヲ審議スル次第ナリト語リタリ

右ニ對シ本官ハ斯ル條件ニテハ到底日本政府ノ承認ヲ得ル

コト難ク傳達スラ不可能ナリト拒絕シタル處吳ハ廣東ノ内

部ニ於ケル日本ニ對スル誤解大ナルコトヲ繰返シ本件解決

ヲ機會ニ兩國親善ノ基礎ヲ作り度ク自分ハ責任ヲ辭スルニ

ハアラサルモ就任後幾何モナクシテ斯ル事件發生シタルハ

残念ナリ唯大局上ヨリ迅速ナル解決ヲ爲ス爲ニハ日本側ヨ

リモ相當ノ讓歩アリタシト述ヘ自己ノ提案各項ニ對スル本

官ノ意見ヲ求メタリ

依テ本官ヨリ一言ニシテ言ヘハ到底問題ニナラスト言フノ

外ナシト前提シ詳細ニ述フレハ

一、當方ヨリハ如何ナル意味ニ於テモ遺憾ノ意ヲ表スル理由

ナシ

ニ責任者ヲ處罰スルニアラサレハ將來事端ノ發生ヲ防クコ

ト不可能ナリ

ニ、青山ノ行爲ハ正當防衛ナルニ付支那側ノ負傷者ニハ如何

ナル事情アルモ醫藥料ヲ支拂フ能ハス

四、他ノ條件ヲ容レラルルニ於テハ請訓シ見ルヘシ

五、將來ノ保障トシテハ満足ニアラサルモ研究シ見ルヘシ

ト答ヘ置キタリ

支、北平、在支各總領事、汕頭、臺灣外事課長ヘ轉電セリ

394 昭和12年6月17日 在廣東中村總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件の解決交渉に関し吳鉄城の

立場を考慮した讓歩案提出方請訓

広 東 6月17日後発

本 省 6月17日夜着

第二二六號

往電第二二五號ニ關シ

一、青山事件ハ行詰リノ狀態ナル處事實調査ヲ再開シ汕頭當

局ヲシテ正面ヨリ其ノ非ヲ認メシムルコトハ多大ノ時日

ヲ遷延セシムルノミナラス所期ノ效果疑ハシク且其ノ間

連日支那新聞ニ勝手ナル記事ヲ掲載セシメ抗日ヲ煽動セ

シムルコトハ日支關係調整上障害アリト思考セラ

ニ、廣東ニ於ケル抗日空氣及内政狀態ハ往電第二〇四號ノ通

リニシテ之カ打開ニハ寧ロ吳鐵城ヲシテ改善ニ當ラシム

ルヨリ良策ナキ次第ナルニ付本件解決ニハ彼ノ余漢謀及

黨部ニ對スル關係ヲモ多少考慮ニ入ルル必要アリ

ニ、就テハ本件ハ交渉ノ餘地ハアルモ結局ノ場合ノ肚トシテ

(一) 汕頭市長ヲシテ吳主席申出ノ二點ニ付遺憾ノ意ヲ表セ

シムルコト(當方ハ何等遺憾ノ意ヲ表スルノ要ナシ)

(二) 警察局長ノ免職ハ往電第一八〇號吳鐵城ノ言明ニ信賴

シ且往電第一九一號末段ヲ作謙ノ内話ヲモ考慮シ督察

長以下ハ免職ヲ要求スルモ其ノ時期及形式ハ吳ノ希望

ヲ容ルルコト

(三) 青山ノ醫藥料ノミヲ支拂ハシメ黃ノ分ハ讓歩シ支那側

ヘノ見舞金ハ拒絕ス

(四) 將來ノ保障トシテハ廣東省ニ行ハルル借家規則ハ外國

人ノ居住ヲ制限セス其ノ保護ヲ目的トスルモノナルコ

トヲ基礎トシテ將來ハ現在廣州市ニ於テ行ハルル實例

ニ依リテ處理シ紛糾ノ發生ヲ避クルコト

トシ汕頭市長又ハ其ノ代理者ノ青山慰問ハ讓歩スルコト

ニテ本官ト吳主席トノ間ニ了解ヲ遂ケ汕頭市長ニ訓令セ

シメ同地ニ於テ結末ヲ付クルコト已ムヲ得サルニアラサ

ルカト思考ス

尙將來ノ具體的保障トシテ廣州市ノ實例ヲ踏襲スルコト

ハ必スシモ満足ナル解決ニハアラサルモ

(一)警察規則ノ公布ニ我方ヨリ抗議シ居ラス且永年事實上  
之ニ服従シ來タリタル不利益アリ

(二)廣東省ニテハ不良分子取締ノ爲同様ノ規則ヲ支那人ニ  
モ適用シ居リ

(三)福州發貴大臣宛電報第九六號末段ノ次第ハアルモ福建  
トハ異リ我方ノ勢力大ナラサルニ反シ省民及官憲ノ横  
暴遙ニ大ナル廣東省ニ於テハ同地ノ慣習ヲ直ニ當地ニ  
移スハ困難ナリ

(四)日本人保護ノ爲其ノ所在ヲ知ル必要アリ

ト言フ支那側ノ口實ハ一理ナシトセサル處他ニ辦法アル  
ニ於テハ前記我方最後ノ腹案ニ對スル御意嚮ト共ニ何分  
ノ儀御回訓相仰度シ

395

昭和12年7月6日

在広東中村総領事より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件に関する広東省政府との交  
渉は解決条件をめぐり決裂の懸念があるとこ  
ろ対処振り請訓

考ナルモ内政上日本ノ要求ニ基キ處分スルコトヲ文書ヲ以  
テ約束スルニ困難アリト頗ル當惑ノ模様アリ

之ニ對シ本官ハ正式公文ヲ以テ約束スルコトヲ得サレハ主  
席又ハ祕書長ヨリ祕書翰ヲ提出スルニ於テハ公式ノ交渉  
ヨリ「ドロップ」スル位ノコトハ考慮スヘシト述ヘタルニ  
歐陽ハ斯ルコトカ世間ニ漏洩スル時ハ現在ノ環境ニ見レハ  
生命スラ危険ナリ到底困難ナルニ付主席及自分ノ處置ヲ信  
シ書翰ニ依ル約束丈ケハ勘辦アリ度シトテ縷々哀願シテ讓  
ラス遂ニ物別トナレリ

支那側カスル申立ヲ爲シ來リタルハ余漢謀等軍部ノ壓迫ニ  
出ツルコト明カナルカ本官ハ明七日午後五時半交渉ノ際更  
ニ同様ノ主張ヲ繰返スヘキモ此ノ點ニ懸リテ決裂トナラハ  
大局上ヨリ考ヘ不利ナリト思考スルニ付決裂ノ瀬戸際ニ立  
タハ充分念ヲ押シタル上承認シ差支ナキヤ折返シ御回訓相  
煩度シ

支、北平、上海、福州、厦門、汕頭、臺灣外事課長へ轉電  
セリ

第二五六號

貴電第三九號ニ關シ

六日歐陽主席代理ト會見(「特派員同席」)シタルカ歐陽ハ旅  
行中ノ吳主席ト電話ニテ話合ヒタル趣ヲ以テ青山ノ陳述ヲ  
再ヒ固執シ來レルニ付本官ヨリ百方論駁ヲ加ヘ交渉ノ決裂  
モ辭スル所ニアラスト斷然拒絕シタル處遂ニ淡白ニ謝罪ヲ  
承認セリ

次テ歐陽ハ責任者處罰ニ言及シ支那側ニ於テ誠意ヲ以テ處  
置シ今後汕頭ノ空氣改善ニ最善ヲ盡スヘキヲ以テ書翰ニ依  
リテ更迭ノ約束ヲ爲スコトハ假令公表セラレストスルモ内  
政上承認シ難ク又青山ノ陳述ヲ撤回シタルコトニテモアリ  
吳鐵城等ヲ信シテ讓歩セラレ度ク之カ代償トシテ青山ノ醫  
藥料ハ支拂フヘシト提案シ來リタリ

依テ本官ハ既ニ了解濟ノ點ヲ度々變更シ來ラルル貴方ノ信  
義ヲ疑ハサルヲ得ス果シテ責任者ヲ處罰セラルル方針ナリ  
ヤ又彼等ヲ留任セシムルニ於テハ第二、第三ノ事件ヲ發生  
セシムヘシト述ヘタルニ歐陽ハ勿論輕重ニ依リテ處分スル

396

昭和12年7月10日

在中国川越大使より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡査拘引事件の解決条件をめぐる日高参  
事官と王部長との応酬振り報告

南京 7月10日後発  
本省 7月11日前着

第四八九號

貴電第一一九號ニ關シ

日高參事官ハ連日ノ飛行機満員ノ爲漸ク十一日ノ座席ヲ得  
テ廬山ニ赴ク手筈トナリ居タル處偶々王外交部長九日歸寧  
シタルニ付十日同部長ヲ往訪シ(董科長同席)冒頭貴電ノ次  
第ヲ篤ト申入レタル處王ハ現地ニ於ケル之迄ノ話合ニ付自  
分ノ了解スル所ハ左ノ通りニシテ貴方ノ御話トハ聊カ相違  
アリ即チ

(一)汕頭市長ヨリ日本領事ニ對シ市長不在中事件發生シタル  
コトニ付遺憾ノ意ヲ表スルト共ニ將來同一事件ノ發生ヲ  
防止スヘキ旨保障シ之ニ對シ日本領事ヨリ青山ノ憤激ノ  
結果事件惹起セラレタル點ニ付輕キ意味ノ挨拶ヲ爲スコ  
ト

(二)責任官憲ヲ二箇月後自發的ニ轉任セシムヘキコト  
(三)青山ニ對スル醫藥料ハ支那側ニテ査定ノ上支拂フコト  
(四)將來日本人ノ移轉ニ際スル手續(現地話合ノ通り)  
ト心得居レリト述ヘタリ

依テ日高ヨリ本件解決條件ニ關スル詳細ハ現地ニ於テ折衝中ニシテ茲ニ事實ニ關スル細カキ議論ヲ繰返スハ自分ノ希望スル所ニアラス唯大局の見地ヨリ本件解決ノ促進ヲ圖リ度シト前提シ貴電御來示ノ我和協的態度及政府ノ關心ヲ再言シタル上廣東總領事ヨリノ報告ニ依レハ現地ニ於ケル交渉ノ結果

(イ)汕頭市長ハ日本領事ニ對シ單ナル(不在中ヲ云々セサルモノ)陳謝及將來ノ保障ヲ爲スコト

(ロ)青山ニ對スル醫藥料ヲ放棄スルト共ニ日本領事ノ挨拶ハ取止ムルコト

ニ既ニ話合纏マリタルモノト心得居レリト述ヘタル處王ハ右様ノ話ハ先般廣東ヨリ報告アリタルコトアルモ支那側トシテハ受諾出來スト同訓シアリト述ヘ試案トシテ汕頭市長ノ陳謝ト日本領事ノ挨拶トヲ御互ニ「ドロツプ」スルコトトシテハ如何ト謂ヒタルニ付日高ヨリ右ハ本事件ノ性質上

福州ヨリ台灣外事課長ヘ轉電アリタシ

397 昭和12年7月14日 在広東中村總領事より  
広田外務大臣宛(電報)

邦人巡查拘引事件に関する広東省政府との解  
決交渉がほぼ合意に達した旨報告

別 電 昭和十二年七月十五日発在広東中村總領事より

り広田外務大臣宛第二六八号

外国人移転規定に関する各国領事宛通牒案

広 東 7月14日後発

本 省 7月14日夜着

第二六六號

貴電第四三號ニ關シ

十三日本官ヲ特派員ト會見シ御訓令ノ趣旨ニ從ヒ責任者處罰ヲ必ス實行スルニ於テハ北支ノ事態重大ナル折柄今之ヲ解決スルトキハ幾分ニテモ日支間ノ空氣緩和ニ貢獻シ得ヘキニモ鑑ミ特ニ大局上ヨリ貴方ノ申出ヲ受諾シ文書ニ依ル處罰約束丈ケハ讓歩スヘシト申入レタリヲハ外交部長ヨリ日高參事官カ本官ニ對シ幾分ノ讓歩ヲ勸告スル旨述ヘラレ

「バーゲン」ニナラスト撥付ケタリ(董ニ對シ支那側ノ非違及責任ノ點ヲ詳説シ置ケリ)

次テ王ヨリ責任官憲轉任ノ件ハ二箇月後必ス實行スヘキニ付之ニ信賴セラレ度シト述ヘタルニ依リ日高ヨリ吳ハ現在既ニ内政上ノ困難ヲ理由ニ思ヒ切ツタル解決案ヲ受諾スルヲ躊躇シ居ル位ナレハ轉任實行ニ當リテハ一層ノ困難アルヘキコト想像ニ難カラス我方トシテハ成都總領事館再開ニ關スル支那側ノ約束カ未タ實現セラレサル實例モアリ此ノ點是非トモ書物ニ依リ約束ヲ得ルニアラサレハ安心ナリ難シト迫リタル處王部長ハ自分ノ言ニ信賴アリ度キ旨ヲ繰返シ若シ二箇月後萬一實現セサル際ニハ日本ハ更メテ支那側ヲ追究セラルルコト可能ナラスヤト述ヘ尙本件ニ關シテハ日支雙方ヨリ現地官憲ニ對シ圓滿妥結方訓令スルコトト致度ト述ヘタルニ付日高ヨリ夫レモ一方法ナランカ前記(イ)ノ點ニ付テハ我方トシテ絶對緩和ノ餘地無キ旨念ヲ押シ我方トシテ後案ノ受諾ヲ力説シ置キタリ

尙吳鐵城ハ目下上海滯在中ナルニ付吳ニ對スル申入ニ付テハ上海總領事館ニ於テ手配スルコトニ聯絡濟(不在)

北平、上海、廣東、福州、廈門、汕頭ニ轉電セリ

タル由ナリトテ新ナル訓令ヲ受ケ居レル模様ニシテ青山ノ陳述ニ付再應考慮ノ餘地ナキヤト同シ問題ヲ繰返シタルニ付日高參事官ハ現地ノ協定カ最モ實情ニ即シ居ル旨ノ考ヲ有シ居ラルルニ付本官ト貴特派員ノ交渉ノ内容ニ立入ラルルトハ考ヘラレスト相手トセサリシ處彼ハ北支事態發生ノ際斯カル條件ニテ之ヲ解決スルハ支那側ニ取リテハ極メテ痛苦ナリト濤シ居タルモ本官ヨリ我方カ支那側ノ申分ヲ容レタル今日之ニ不服アルヘキ筈ナシト突放シ結局ヲハ省政府側及外交部ト相談ノ上手續ヲ執ルコトヲ約セリ從テ發表ノ時期ハ追テ支那側ト協定ノ上定ムヘキニ付御含置ヲ請フ尙フハ本解決條件ハ寬大ナリト雖外ニ現レタル所ニテハ非ハ全然支那側ニアルコトヲ認ムルモノナルニ付強ガリ許リヲ言フ外部ニ對シテハ都合惡シク自分ハ辭職セサルヘカラサルヤモ知レスト難色ヲ漂ハシ居リタルニ付本官ヨリ特派員ニハ氣ノ毒ナルモ事件自體カ惡イ爲ニ致方ナク此ノ程度ニテ喰止メタルハ寧ロ貴下ノ成功ナリト有メ置キタリ

現在双方ノ話合ヲ總括スレハ

「フ」特派員ヨリ本官ニ對スル公文ヲ以テ別電第二六七號解決條項ヲ通報越シ我方ハ單ニ之ヲ了承セリトノ回答ヲ發

スル筈

(イ)汕頭市長不在云々ハ市長ノ面子ヲ立ツル爲是非必要ナリト固執セルニ付之ヲ容認セリ

(ロ)醫藥費額ハ汕頭領事ヨリ市政府ニ通牒スレハ支拂ハルヘシ

(ハ)居住制限ニ關スル聲明ハ書翰ニ表スハ支那ニ取リテ極メテ不體裁ナリトテ次ノ手續ヲ取ルコトナレリ

ニ居住移轉ニ關スル了解ハ双方係官間ノ了解事項内容ヲ添附セル別電第二六八號ノ趣旨ヲ各國領事ニ通牒シ之ニ對シ我方モ單ニ閱悉セリトノ回答ヲ發スル筈尤モ文言上多少變更ヲ見ルヤモ測ラレサルモ其ノ趣旨ハ同様ナリ

而シテ居留民ハ家族氏名年齢等ヲ記入セル表ヲ添附セル本國人某々何處ヨリ何處ニ移轉ストノ領事館發給移轉證明書ヲ受取り之ヲ領事館ニ關係ナク警察局ニ持參スルトキハ警察局ヨリ「今般何國人某々家族幾名ト共ニ何月何日何處ニ移轉移住スルニ付特ニ之ヲ知照スヘシ」トノ文書ヲ發給セラレ別ニ巡警ハ之ヲ見ル時ハ便宜ヲ供與スヘキ旨ノ一般的命令ヲ受ケル筈ナリ

本電別電ト共ニ支、北平、上海、福州、廈門、汕頭及台灣

成リ尙何分ノ儀御回示相煩度候敬具

添附書類(外國人移轉手續ニ關スル件)

一、外國人ハ借家契約成立後移轉ノ四日前ニ於テ當該國領事館ヨリ發給セル移轉證明書ヲ持チ自ラ警察局ニ赴キ移轉ニ關スル便宜供與方ノ文書ヲ受領該文書ヲ携帶シテ其ノ

外事課長へ轉電セリ

(別電)

廣東 7月15日午後  
本省 7月15日夜着

第二六八號

拜啓陳者今般廣東省政府ヨリ

本省現行ノ外國人移轉規定ハ外國居留民ノ多數ニ於テ密ニ外國人ノ本省內居住ヲ制限セントスル意味ヲ有スルモノナリト誤信シ居ル處右ハ全ク誤解ニシテ本省ニ於テ本件規定ヲ實施セル目的ハ切實ニ外國居留民ヲ保護セントスルニ外ナラス絶對ニ外國人ヲ制限セントスルノ意思ヲ有セサル次第ニ有之今般外國人ノ行フ移轉手續ヲ便利ナラシムル爲特ニ本省ニ於テ融通便法ヲ制定シ各關係地方當局ニ對シ其ノ遵守方訓令シタル本件便法茲許別添送付スルニ付各國駐粵領事ニ對シ各國居留民ニ知ラシムル様轉達方取計ハレ結果御回示アリ度シ

トノ書翰ニ接シ候

就テハ右添附書類茲許送付候條貴國居留民ニ對シ御示達相

借家ニ移轉スルモノトス

ニ、移轉者カ領事館員ナルトキハ改メテ當該領事館ヨリ市政府或ハ警察當局ニ對シ移轉ニ對スル便宜供與方ヲ請求スルモノトス

~~~~~